

開発優先度の高いワクチンについて

海外に存在するワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV	4.6		4.6	1	—	—	—	—	—	MMRIは薬事申請中	乳幼児の予防接種過密過密スケジュール及び、同時接種による苦痛の緩和のため(日本小児保健協会)
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	4.0		4.0	2	—	—	—	—	—		乳幼児の予防接種過密過密スケジュール及び、同時接種による苦痛の緩和のため(日本小児保健協会)
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	3.2		3.2	3	△	△	—	—	◎	薬事申請中	
その他	インフルエンザ(経鼻)	3.2		3.2	3	◎	○	—	—	-		
その他	帯状疱疹ワクチン	3.0		3.0	4	◎	△	—	—	-		
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	2.8		2.8	5	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン	2.6		2.6	6	—	—	—	—	◎		
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	1.6		1.6	7	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン	1.4		1.4	8	△	△	—	—	○		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

開発優先度の高いワクチンについて

海外に存在するワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
その他	インフルエンザ(経鼻)	4.5		4.5	1	◎	○	—	—	—		安全で予防効果の高いインフルエンザワクチンを開発すべき(日本呼吸器学会)
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV	4.0		4.0	2	—	—	—	—	—	MMRIは薬事申請中	
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	4.0		4.0	2	—	—	—	—	—		
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0		3.0	3	—	—	—	—	◎		
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	2.5		2.5	4	△	△	—	—	◎	薬事申請中	
その他	帯状疱疹ワクチン	2.5		2.5	4	◎	△	—	—	—		
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	2.0		2.0	5	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	2.0		2.0	5	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.0		2.0	5	△	△	—	—	○		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

開発優先度の高いワクチンについて

海外に存在するワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV	4.8		4.8	1	—	—	—	—	—	MMRIは薬事申請中	薬事申請中とされているが、承認されないまま相当な期間が経過しており、承認の見込みなどを情報提供していただくことが必要(日本感染症学会)
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	4.5		4.5	2	—	—	—	—	—		乳児期の接種スケジュール緩和・接種負担の軽減・医療安全の観点から不可欠(日本感染症学会)
その他	インフルエンザ(経鼻)	4.0		4.0	3	◎	○	—	—	—		国内での年少児への有効性と安全性に関する検討が望まれる(日本感染症学会) 安全で予防効果の高いインフルエンザワクチンを開発すべき(日本感染症学会)
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	3.5		3.5	4	△	△	—	—	◎	薬事申請中	早期の承認が必須(日本感染症学会)
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	3.5		3.5	4	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	早期の承認が望まれる(日本感染症学会)
その他	帯状疱疹ワクチン	3.3		3.3	5	◎	△	—	—	—		
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0		3.0	6	—	—	—	—	◎		A型・B型混合ワクチンにこだわらないが、国産A型肝炎ワクチンの供給は大いに不足しており、そのような状況がさらに持続するならA型肝炎ワクチンの開発は優先度「5」(日本感染症学会)
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	2.5		2.5	7	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.5		2.5	7	△	△	—	—	○		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

開発優先度の高いワクチンについて

海外に存在するワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV	5.0		5.0	1	—	—	—	—	—	MMRIは薬事申請中	薬事申請されてからの期間があまりに経っているので、現状での承認の見込みなどを情報提供していただくことが必要と考える(日本渡航医学会)
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	5.0		5.0	1	—	—	—	—	—		乳児期の接種スケジュール緩和・接種負担の軽減・医療安全の観点から必要不可欠(日本渡航医学会)
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	5.0		5.0	1	△	△	—	—	◎	薬事申請中	早期の承認が望まれる。流行地へ日本から渡航する者が、現地へ渡航後に海外ワクチンを接種している現状は早急に解決すべきである。(日本渡航医学会)
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	5.0		5.0	1	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	早期の承認が望まれる(日本渡航医学会)
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	4.0		4.0	2	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン	4.0		4.0	2	△	△	—	—	○		
その他	インフルエンザ(経鼻)	3.0		3.0	3	◎	○	—	—	—		国内での年少児への有効性と安全性に関する検討が望まれる(日本渡航医学会)
その他	帯状疱疹ワクチン	3.0		3.0	3	◎	△	—	—	—		
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン	2.0		2.0	4	—	—	—	—	◎		現状のような国産A型肝炎ワクチンの供給不足が続くならば、A型・B型混合でなくても良いが、新たなA型肝炎ワクチンの開発は優先度「5」。国内承認製剤が入手できるワクチンで、渡航者への接種の優先度やニーズが最も高いワクチンが希望する国民すべてに普及できないのは実に嘆かわしい状況である。(日本渡航医学会)

注)疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

開発優先度の高いワクチンについて

海外に存在するワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV	4.0		4.0	1	—	—	—	—	—	MMRIは薬事申請中	先天性風疹症候群の発症リスク低下のため。成人男性のムンプス重症化によって続発性無精子症(不妊症)のリスク低下のため。(日本産科婦人科学会)
その他	インフルエンザ(経鼻)	4.0		4.0	1	◎	○	—	—	—		妊婦における重症化が問題となるため。(日本産科婦人科学会)
その他	帯状疱疹ワクチン	4.0		4.0	1	◎	△	—	—	—		妊婦におけるVZV抗体保有率の低下の現状を踏まえ 先天性水痘症候群や周産期水痘のリスクを低下させるため。(日本産科婦人科学会)
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	3.0		3.0	2	—	—	—	—	—		
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0		3.0	2	—	—	—	—	◎		
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	3.0		3.0	2	△	△	—	—	◎	薬事申請中	
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	3.0		3.0	2	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	3.0		3.0	2	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン	3.0		3.0	2	△	△	—	—	○		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

開発優先度の高いワクチンについて

海外に存在するワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	5.0		5.0	1	△	△	—	—	◎	薬事申請中	その病原性の高さから考えて優先度は高い。(日本細菌学会)
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	4.0		4.0	2	△	△	—	—	○		途上国への旅行者向けに優先度は高いと言える。(日本細菌学会)
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	3.0		3.0	3	—	—	—	—	—		喫緊の課題となるワクチンであるとは思われない。(日本細菌学会)
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	3.0		3.0	3	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	発症頻度からして優先度はそれほど高くない。(日本細菌学会)
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV					—	—	—	—	—	MMRは薬事申請中	
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン					—	—	—	—	◎		
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン					△	△	—	—	○		
その他	インフルエンザ(経鼻)					◎	○	—	—	—		
その他	帯状疱疹ワクチン					◎	△	—	—	—		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

開発優先度の高いワクチンについて

分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	海外に存在するワクチン				流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)				
						罹患	死亡	罹患	死亡			
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV	5.0		5.0	1	—	—	—	—	—	MMRは薬事申請中	
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	5.0		5.0	1	—	—	—	—	—		
その他	インフルエンザ(経鼻)	5.0		5.0	1	◎	○	—	—	—		
その他	帯状疱疹ワクチン	5.0		5.0	1	◎	△	—	—	—		
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	4.0		4.0	2	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0		3.0	3	—	—	—	—	◎		
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	3.0		3.0	3	△	△	—	—	◎	薬事申請中	
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン	3.0		3.0	3	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	2.0		2.0	4	△	△	—	—	○		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

開発優先度の高いワクチンについて

海外に存在するワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV	4.9		4.9	1	—	—	—	—	—	MMRは薬事申請中	
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	4.9		4.9	1	—	—	—	—	—		
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	4.4		4.4	2	△	△	—	—	◎	薬事申請中	
その他	インフルエンザ(経鼻)	4.4		4.4	2	◎	○	—	—	—		
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン	4.2		4.2	3	—	—	—	—	◎		
その他	帯状疱疹ワクチン	3.8		3.8	4	◎	△	—	—	—		
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	3.6		3.6	5	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	3.0		3.0	6	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.9		2.9	7	△	△	—	—	○		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

開発優先度の高いワクチンについて

海外に存在するワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV	5.0		5.0	1	—	—	—	—	—	MMRは薬事申請中	MMRは是非必要。MRVも国内開発可能。(日本ワクチン学会)
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	5.0		5.0	1	—	—	—	—	—		5価は可及的速やかに開発し、6価までもっていく(日本ワクチン学会)
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	5.0		5.0	1	△	△	—	—	◎	薬事申請中	国内早期承認発売(日本ワクチン学会)
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	5.0		5.0	1	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	早期承認発売(日本ワクチン学会)
その他	インフルエンザ(経鼻)	5.0		5.0	1	◎	○	—	—	—		生は米国で実用化済み。不活化は我が国でも長年研究されている。(日本ワクチン学会)
その他	帯状疱疹ワクチン	5.0		5.0	1	◎	△	—	—	—		日本発ワクチンの適応をさらに拡大する(日本ワクチン学会)
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン	4.0		4.0	2	—	—	—	—	◎		米国ではHAもHBも小児のルーチンに入ってきている(日本ワクチン学会)
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	2.0		2.0	3	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.0		2.0	3	△	△	—	—	○		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

開発優先度の高いワクチンについて

海外に存在するワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
混合 ワクチン	MMR/MMRV/MRV	5.0		5.0	1	—	—	—	—	—	MMRは薬事申請中	薬事申請中のワクチンの早期承認。ムンプス、水痘の定期接種化を強く求める。(日本小児科医会)
混合 ワクチン	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	5.0		5.0	1	—	—	—	—	—		多価混合ワクチンの早期導入。HBワクチンの定期化が鍵になる。(日本小児科医会)
その他	インフルエンザ(経鼻)	5.0		5.0	1	◎	○	—	—	—		現行のスプリットワクチンの限界は明らかなので、早急に承認が必要。(日本小児科医会)
渡航者 ワクチン	髄膜炎菌ワクチン	3.0		3.0	2	△	△	—	—	◎	薬事申請中	国内では血清群Bが多いので申請中のものだけでなくBの抗原を含むワクチンも必要。(日本小児科医会)
渡航者 ワクチン	腸チフスワクチン	3.0		3.0	2	△	△	—	—	◎	承認申請準備中	現行のワクチンは経口のは飲みにくく、ポリサッカライドワクチンは有効年数が短い。(日本小児科医会)
その他	帯状疱疹ワクチン	3.0		3.0	2	◎	△	—	—	—		
渡航者 ワクチン	コレラワクチン	2.0		2.0	3	△	△	—	—	○		B-subunitを含むものがよい。(日本小児科医会)
渡航者 ワクチン	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.0		2.0	3	△	△	—	—	○		
混合 ワクチン	A-B型肝炎混合ワクチン	1.0		1.0	4	—	—	—	—	◎		A型肝炎ワクチンの安定供給がなされればよい。B型肝炎と接種対象が異なるので、混合ワクチンは不要。(日本小児科医会)

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない